



スウェーデンパートナーシップ調印式（スウェーデン・ストックホルム）

## 献身の証し

大佐和キリスト教会 白田百合子



私は20歳で信仰を持ちました。イエス様を信じて間もない頃に、私は夢のような不思議

な幻を見ました。勤務していた会社の社屋が火災になり、ほとんど全員が庭に避難したのですが、私の友人の女性が一人取り残されたのです。もちろん幻の中のことですが、私は彼女が救われるように祈りました。すると私の背後に白い衣を着た人が立たれて「それは貴方の仕事です。火の中からつかみ出して救いなさい」と語られ、幻は消えました。この体験を友人のクリスチャンに話す時、彼女は祈ってくれ、「主のために働きなさい」と語られているのかも示唆をくれました。自分では、納得していなかったので、教会の祈祷会でリーダーの長老に話しました。そして、幻の中で語られた言葉がユダ書23節と重なることを知らされ、その時から献身について考え、備え、祈り始めました。そして、約一年間、働きながら、できる限り奉仕することから献身の生活が始まりました。

その後、仕事を辞して教会に住み込み、献身実習生の様な生活へ移っていき、3年間弟子訓練にあずかりました。24歳で関西聖書学院に入學し、28歳で同学院を卒業いたしました。卒業後は、母教会の八尾栄光キリスト教会で3年、西宮福音教会で34年、奉仕にあずかりました。

西宮福音教会を定年退職する前に、今後の導きについて祈っていたところ、郷里伝道も候補のなかになりましたが、主は意外な方法で千葉県富津市に導いてくださいました。手がかりもない時期に、山があつて、海があつて、畑があつて、庭のある住む家がある、会堂と信徒さん達がいる場所を求めました。（庭つきを願ったのは愛犬チビのためでした。）こんな漠然とした祈りの中で、神様は、大佐和キリスト教会を芳先生と宮崎先生のご紹介で与えてくださいました。環境は、まさに、祈り、願った通りで感謝です。また、幻の中で聞いた召しの言葉はこの地でも有効で、一人、また一人と救いの中に人々を招く奉仕にあずかっています。主はいつも思いを超えて満たしてくださいます。

## アルゼンチン宣教報告 在原 繁

いつもアルゼンチン宣教のためのお祈りと捧げものを心より感謝申し上げます。

アルゼンチンが直面する経済状況は極めて厳しいものです。昨年 11 月の物価上昇率は 92.4% を記録しています。しかし、リバイバルは続いています。

モンテカルロのカルロス牧師よりメールが入り、昨年 12 月に 5 名が洗礼を受けたとの報告がありました。男性 3 名、女性 2 名、平均年齢 28 歳です。昨年の受洗者総数は 11 名となります。教会が力を入れているのは「祈祷会」で、週 2 回持たれています。建設途上にあった「会堂増築計画」は資材不足により頓挫しています。

また、カルロス牧師の婦人ナターシャ姉は、昨年 8 月に母親を亡くしました。54 歳の若さでした。しばらく塞いでいたナターシャ姉は、今は立ち上がり元気になっているそうです。

娘ルツ子より宣教報告が入りました。レナセール教会は「婦人集会」の出席者増加と、婦人たちの信仰成長が顕著のようです。昨年 1 年間で 30 余名を数えたそうです。礼拝は 60 ～ 70 名（子供を除く）へと成長を見せているようです。

私たちの日本滞在は、あっという間に 10 か月を経過

しています。当初の予定では、すでに宣教地へ戻り、額に汗しているところです。私たち夫婦の「健康診断」継続と、「コロナ感染」による活動制限が滞在延期の要因です。

今年 1 月よりデピュテーション数は増えてまいりました。平日の集会を再開する教会が増加しているからだと思います。これから、5 月末まで、お招き下さる教会をできる限り訪問させていただきたく願っております。御招待下さる教会がございましたら「アルゼンチン宣教を支える会」0550-82-2872へご一報下さるよう、よろしくお願い致します。

感染による渡航制限などがなければ、宣教地への出発は 6 月適時を予定しております。宣教ご支援を心より感謝申し上げます。 1 月 3 日御殿場にて



### ～T P K F 三役の提言～

#### どんなときも神を見上げて

議長 芳 三容子



皆さんは、どのように新年をスタートされましたでしょうか。今年は元旦が聖日礼拝でしたから、礼拝にてみことばをいただき、もしくは個人的にみことばをいただき新しい年をスタートされたのではと思います。

2023 年がどのような年になるかは誰にもわかりません。世界状況を見るときに明るい兆しが見えないような時代の中を生きている感じですが、これは今だけではありません。歴史を振り返っても酷い時代を見ることができ、聖書の中にも酷い時代、酷い状況の中を生きていたのを見ることができます。そして聖書を通してその中で神様がどのように働かれたのかを見ることができます。

「わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている——主のことば——。それはわざわざい

はなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」(エレミヤ書 29 章 11 節)

神様が私たちのために立てておられる計画は、わざわざいではなく平安、将来、希望を与えるためのものだと聞いています。どんな中でも神様は働かれるお方、現状にとられるのではなく神様と神様のことばから目を離さず、しっかりと契約のことばを握り、信仰を持って神様に期待をして歩いていきましょう。

神様に期待をできるということ、これはすごいことでクリスチャンの特権でもあります。それも根拠のない期待ではなく、神様のことばという不変であり絶大な効力がある契約に基づいていますし、私たちの神様は全知全能の神であるという事実に基づいているのです。

私たちのフェローシップは、北は北海道から南は九州に至るまで教会が建てられています。ともに神様に期待しつつ、互いに祈り合い、助け合い、励まし合い、時にはともに涙を流し、前進し続けていきましょう。神様のみわざを分かち合い、感謝と賛美をささげながら。



## 信仰継承 ～子育て奮闘記～

町田純福音教会 副牧師

小川祐司

この度、信仰継承という、今まで息子や娘たちに信仰継承どころか、つまずきばかり与えてきた、一番この記事を書いてはいけない者がその信仰継承というテーマにチャレンジさせていただくことになりました。その理由は、失敗体験も現在子育て奮闘中の皆様にとって、参考になることもあるのではないかと思った次第です。

私と妻には3人の子供が与えられました。現在、長男は27歳、長女は24歳、次女は16歳(現在も子育て奮闘中です)。長男が生まれた当時、私は父と共に経営していた会社が忙しく、子育ては妻に任せっきりになっていました。私が子育てに参加しなかったことが非常によかったらしく、長男は妻の信仰を継承して10歳の時に町田の教会で洗礼を受けました。涙を流しながらイエス様への信仰を告白している息子を見ながら、「この子のような信仰を持ちたい！」と私も涙を流しながら悔い改めたのを今でも覚えております。

その当時の私はクリスチャンと呼ぶにはあまりにも不信仰な生活を送っていました。礼拝には出席していましたが、平日は聖書を開くことも祈ることもありませんでした。子どもにとっては、悪いクリスチャンの見本だったことでしょう。子育てを妻に任せていたのは神さまの恵みでした。

ところが、小学校の授業参観で、休み時間に息子が友達とじゃれ合っていたのを見て、いじめを受けているのと勘違いしてしまった私は、「このままでは息子がかわいそう。息子を鍛え上げて、いじめに負けない強い子に育てなければ！」と勝手に思い込み、その日から私も子育てに参加し始めたのが間違いの始まりでした。ほぼ無理やり少年野球チームに入れ、毎朝学校



に登校する前に朝練、夜はバッティングセンターと一緒に通いつめ。おかげで、6年生の時に4番バッターでエース！いじめどころか、学校では人気者になっていましたが、いつの間にかイエス様への信仰は薄れて行きました。

一番の原因は私の信仰です。彼は私の信仰をいつも見ていたからです。親のプライドが大優先で、「子供にとって幸せとは」を自分の価値観で勝手に決めつけて、押し付けて。息子は完全に被害者でした。やがて彼は中学、高校でバスケットボールにのめり込み、イエス様から遠く離れてしまいます。私がそのことを心から後悔し、神に悔い改めて、回復のために必死に祈るようになったのは、会社をたたんで、牧師になる決意をしたところからです。

「まだ遅くない。自分がまずイエス様のもとに帰ろう。自

分のために、妻のために、子供たちのために。自分がいつもイエス様のそばにいたい」

イエス様は私をあわれんでくださって、私を牧師にしてくださいました。私が牧師



神学校時代ダラスにて

になるために神学校で奮闘するようになったころ、時を同じくして息子も少しずつイエス様のもとに帰りはじめていました。やはり彼は私の信仰をどこかで見ていたのだと思います。息子は今、「パズ」という宣教団体が経営する店で働きながら、その教会で奉仕をしています。

私には今、一つの信念があります。それは「遅すぎることはない」ということです。諦めずに神に求め続け、諦めずに神に祈り続け、諦めずにたたき続けるなら、イエス様は必ず私たちをあわれんでくださって、神の最善の時に神の最善を成し遂げてくださると信じます。

私の子育ては、失敗だらけの奮闘であり、今も奮闘中です。でも、この奮闘に日本のリバイバルがかかっていると思うと諦めるわけにはいきません。アブラハムからイサクに、イサクからヤコブに。モーセからヨシュアに。エリヤからエリシヤに。ダビデからソロモンに。そしてイエス様から弟子たち、弟子たちから使徒たちに、使徒たちから私たちに。信仰のバトンが世代から世代へと受け継がれて行く時、神の計画が成し遂げられて行きます。私たちの信仰は私たちのためだけの信仰ではありません。ささやかな信仰であっても、そのバトンを待っている次の世代の人々は、今の私たちの信仰を継承して行こうとするからです。私も、「絶対に大丈夫！イエス様が私たちを通して成し遂げてくださる。」という希望と確信を持って、これからも信仰の継承に励んでいきたいと思えます。皆さん、イエス様にとって、遅すぎることは一つもありません。諦めず、私たちの信仰を継承してもらうために、これからもイエス様への信仰を握りしめて、進んで行きましょう！

「神にとって不可能なことは何もありません」(ルカの福音書1章37節)。アーメン！

2023年正月に

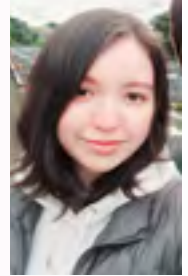


# あかし

## 救いの証し

富士純福音キリスト教会 河西椎菜

私は牧師兼宣教師家庭に生まれ、小さな頃から家族でお祈りをしたり、教会に行って父のメッセージを聞いていたので、神様が本当にいることは信じていましたが、心のどこかで「父の神様」「母の神様」と思っていて、最初はなかなか神様と自分の繋がりがあまりピンときませんでした。しかし、5～6歳くらいの頃、父が礼拝メッセージの中で、「私の目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」この一節がスッと自分の心に入っていきのかわかり、「この言葉は神様が直接自分に語って下さっている！」と感じ、「神様は自分のそばにおられて愛して下さいの私の神様！」だと信じることができ、初めて神様との関係を知ることができました。また、20歳の年を迎えるまでいろいろなことがありましたが、信仰が守られ、祈りや励ましで支えて下さった家族や兄弟姉妹、共に歩んでくださった神様に心から感謝します！



## 救いの証し

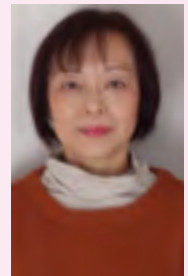
岐阜純福音教会 加藤順子

私はクリスチャンの両親の元に生まれ、幼い頃から日曜学校で聖書のお話を聞いていました。けれど、一緒に暮らしていた祖母と曾祖母、また親戚はクリスチャンではなく、家には仏壇と神棚があり不思議な思いを抱いて育ちました。子供の頃の私は引っ込み思案な性格で、そのため友だちとの関係がうまくいかないこともありました。

中学生の時、他の教会の学生キャンプに参加しました。そこで出会ったのは、洗礼を受けて生き生きと神様の話をする同年代の子たちでした。自分は神様を知っていて聖書を読んでいたけれど、それは頭の中の理解だけだと気が付きました。それで、これから神様とどうありたいか、どう歩みたいかを考え求めて祈りました。その中で「わがたましいよ 主をほめたたえよ。主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。」(詩篇 103:2)の御言葉が心に留まりました。神様はこんな私を愛し良くしてくださっていること、私の罪のためにイエス様を送ってくださったことを心で受け止めることができました。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ 3:16)の御言葉と共にずっと神様に従っていきたいと思い、中学を卒業した春のイースターの日に洗礼を受けました。そして自分で自分を縛り付けていた負の感情からも解放され、とても楽になりました。

高校卒業後、日曜学校の奉仕をする中で、自分も子供の頃から両親や牧師先生、日曜学校の先生方に祈られて来たのだと分かり、感謝の気持ちでいっぱいです。小さな者だけれど、神様が共にいてくださるので、恐れず主のために歩んで行きたいと思います。



## ■ 新年聖会

〈イースト〉



イーストでは、1月9日の「成人の日」の祝日に、オンラインにて新年聖会が開催されました。ズームから多くの方々が参加して下さり、共に賛美し、共にイエス様を礼拝する恵みをいただきました。各教会の先生方から短く、年間聖句の紹介と新年の挨拶があり、その後、大佐和キリスト教会の白田百合子先生からメッセージをいただき、詩篇23篇から、「どんな状況の中にあっても、私達の杯は、主の恵みによってあふれています。それはキリストが私達のために十字架で死なれ、三日目によみがえられたという事実があるからです！」という力強いメッセージをいただきました。最後は画面上からお互いに手を振り合い、祝福を祈りながら笑顔で再会を期待しながら聖会を閉じました。感謝！ (小川祐司)

## ■ クリスマスカードワークショップ 〈FCMF〉

小松ベタニヤ福音教会では昨年、手作りクリスマスカードのワークショップを開きました。教会の女性の方々が参加して、2時間ほどかけて糸でカードにクリスマスツリーを刺しゅうしていくレベルの高いカード作りを楽しまれました。

私達の教会はここ数年「自発性」をテーマに、牧師主導ではなく信徒の方が用いられることを願う教会形成に取り組んでいます。その中で今回のワークショップは教会のセルグル



ープから自発的に持ち上がって来た企画で、発案から準備その他のすべてを信徒の方が賜物を用いて行ってくださいました。結果として、「本当にやりたいこと」をしながら楽しく信仰の交わりを深め合う大満足の企画となり、信徒の皆さんが自分たちの取り組んでいる「教会形成の実」のひとつを味わうワークショップとなりました。(菅原道夫)

## ■ 信徒訓練セミナー

〈キリスト福音〉

去る11月3日、コロナ禍でしばらく休んでいましたキリスト福音教会聖書学校委員会主催の「信徒訓練セミナー」が再開されました。中坊久行師に講師を務めていただき、「聖書の基本教理について」というテーマで、ペンテコステ教会の信徒が知っておくべき聖書が教える「基本教理」について学ぶことができました。昨今、あるキリスト教異端団体の問題が世の中を騒がせていますが、その中において非常にタイムリーなテーマで講義をしていただきました。聖書から受けているペンテコステ教会の霊的遺産を、受講者は再確認することができました。中坊師の分かりやすく、また心が不思議に燃えて来るような講義は、それぞれの教会の徳を建て上げ、健全な教会成長のための大変有意義なセミナーであったことを報告させていただきます。(土屋紀子)

K B I のためにお祈りとご支援をありがとうございます。

## ■ K B I

K B I は4月11日(火)から新年度がスタートし、3週間コースが行われます。今年の3週間コースのテーマは「回復する者」です。ゲスト講師としてN P O 法人チェンジングライフの野田詠氏師をお迎えします。また「親との関係を見つめる」著者の近藤由美先生に今年も語っていただきます。

益々混迷を深める現代。神様との和解、自己との和解、他者との和解、そして被造物との和解が急務となっているのではないのでしょうか。「回復する者」として来られたイエス様。そしてイエス様に倣い、繋がる者とされている私たち。どうぞ3週間コースのためにお祈りください。そして2023年度K B I 新入生のためにもお祈りください。皆様の教会より主のために献身する器を送ってくださるようよろしく願いいたします。

(関西聖書学院 高橋めぐみ)



# 教会紹介

## 磯子フィラデルフィア教会

所在地：神奈川県横浜市磯子区久木町 13-10

昭和 30 年、ヤコブ・アーネセン牧師夫妻、米川牧師夫妻により伝道活動開始。昭和 36 年米川氏夫妻は京都キリスト福音教会付属聖書学校設立に伴い教師兼牧師として 4 年間京都にて奉仕。京都での働きを終え、横浜に戻り長期に渡り当教会にて牧師を務める。令和元年、米川牧師引退に伴い、菅原克之氏が当教会牧師に着任し、令和 3 年菅原幸子氏も牧師となる。聖日礼拝・夕拝・聖書の学び、VIP クラブ等を通し伝道に使命を与えられています。（菅原克之）



## 京都キリスト福音教会

所在地：京都府京都市左京区北白川大堂町 4-3

1950 年にフィンランドの宣教師、アンナ・マキネン師とタパニ・カルナ師、レア・カルナ師によって京都キリスト福音教会は始まりました。教会の周りは、学生や留学生が多く生活している多様性のある地域です。1994 年に吉田隆師・恵利子師を宣教師として送り出し、海外宣教に取り組んでいます。これからも、日本の文化と伝統の中心である京都から素晴らしい神様の福音を宣べ伝えていきます！（置田信也）

# 教会・働き人情報

### 【訃報】

2022 年 12 月 11 日 大和あがないの丘キリスト教会 荒井よし江 伝道師召天(90 歳) 12 月 17 日 告別式

2023 年 1 月 2 日(日本時間) ブンキョウゴスペルセンター元宣教師 アスラグ・ランゴスダーレン師召天 1 月 17 日 告別式

### ■スウェーデンパートナーシップ契約

1 月 10 ~ 12 日スウェーデン・ストックホルムのパートナーシップ調印式に TPKF 議長芳三容子師、スウェーデンコンタクト宣教師ヨルゲン師、小山英児師が出席。(表紙写真)

### ■イーストチャレンジキャンプ

テーマ：「ラブレポリューション 23」

日程：3 月 27 日 ~ 28 日

場所：三浦 YMCA グローバル・エコ・ビレッジ

講師：佐藤創先生 平塚湘南グレースチャペル

### ● JPC 拡大研修会

6 月 2 日(金)

「これからの日本宣教について」

講師：石田敏則師 JEA 理事長

## 2023年 TPKF 大会のご案内

日 時：6 月 5 日(月)10 時 ~ 15 時(予定)

対 象：教職者(配偶者含)、教会代表者(役員、長老、執事など)

開催方法：Zoom ウェビナー

タイトル：「シン・TPKF」

テ ー マ：「見よ。わたしは新しいことを行う。」

(イザヤ 43:18-21)

講 師：TPKF 三役(芳三容子師、上田勇矢師、山本義武師)

大会委員長：芳三容子師 / 実行委員長：宮崎一実師

### 単立ペンテコステ教会諸教会(名簿順)

北広島自由キリスト教会 / 平川めぐみ教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会  
 横浜フィラデルフィア教会 / 磯子フィラデルフィア教会 / 金沢フィラデルフィア教会 / 横須賀クリスチャンセンター  
 保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル / 大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会  
 秦野クリスチャンセンター / 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音教会 / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会  
 甲府カルバリ純福音教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会 / 富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ  
 いのちのパンの家 / 小松ベタニヤ福音教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会 / ブンキョウゴスペルセンター  
 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / The Lighthouse 749 (三国) / 武生自由キリスト教会  
 グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレイスチャペル  
 岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜ライフチャーチ / 美濃グレイスチャーチ / 本地ヶ原自由キリスト教会  
 瀬戸サレム教会 / 大阪キリスト福音教会名古屋伝道所 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会 / 大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会  
 田上キリスト教会(大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会 / 甲西キリスト福音教会  
 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会  
 山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / 大阪キリスト福音教会  
 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィア教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に 1 部以上を送っています。私たちの願いはすべての TPKF の信徒が 1 部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。pentecost@tpkf.org

TPKF の公式ホームページ <https://tpkf.org/>

